

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
1	後期高齢者医療一般管理事務	683	118		565	高齢者保健事業推進研修への参加のほか、後期高齢者医療被保険者証等の封入封かん業務及び後期高齢者医療保険システム改修業務に必要な経費の支出を行った。
2	後期高齢者医療徴収事務	720			720	市町村事務である保険料を徴収するため、納付書の作成・送付等徴収事務を行った。
3	後期高齢者医療広域連合納付金	283,452		189,405	94,047	徴収した保険料、低所得者等に対する保険料軽減額及び事務費負担金を広域連合に納付した。
4	後期高齢者医療保険料還付金	32		32		令和元年度分 6件 31,700円
5	後期高齢者医療還付加算金	0				保険料の還付金に、還付加算金が発生した場合に付加する。
合計		284,887	118	189,437	95,332	

第 5 表 歳出節別分類表

節 別 \ 款 別	1 総 務 費	2 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	3 諸 支 出 金
8 旅 費	4,500	0	0
10 需 用 費	66,380	0	0
11 役 務 費	654,109	0	0
12 委 託 料	678,772	0	0
18 負 担 金、 補 助 及 び 交 付 金	0	283,452,027	0
22 償 還 金、 利 子 及 び 割 引 料	0	0	31,700
合 計	1,403,761	283,452,027	31,700

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト縮減など	他事業との統合や民間委託		
高い	変わらない	無	無	無	無	最小限の経費で管理事務を行っていく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	保険料を徴収するため、納付書の作成・送付等、徴収事務を適切に実施していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	保険者である北海道後期高齢者医療広域連合と緊密に連携し、適正な事務処理を行っていく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	過年度還付が発生した場合、遅滞なく返還していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	今年度は加算金が発生しなかったが、状況に応じて適切に対応していく。	継続

1. 必要性（市が行わなければならない理由など） 高い・普通・低い
 2. 成果（市民福祉の向上は図られたのかなど） 向上した・変わらない・低下した
 3. 要望（市民・団体・議会からの要望など） 有・無
 4. 行財政改革の取組
 (1)事務事業の休止・廃止など 有・無
 (2)コスト縮減など 有・無
 (3)他の事業との統合や民間委託等 有・無
 ※総合判定（休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善）

（単位：円・％）

合計 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	前年度対比 (A)/(B)
4,500	0.0	10,140	44.4
66,380	0.0	84,024	79.0
654,109	0.2	652,008	100.3
678,772	0.3	69,115	982.1
283,452,027	99.5	270,014,054	105.0
31,700	0.0	53,600	59.1
284,887,488	100.0	270,882,941	105.2